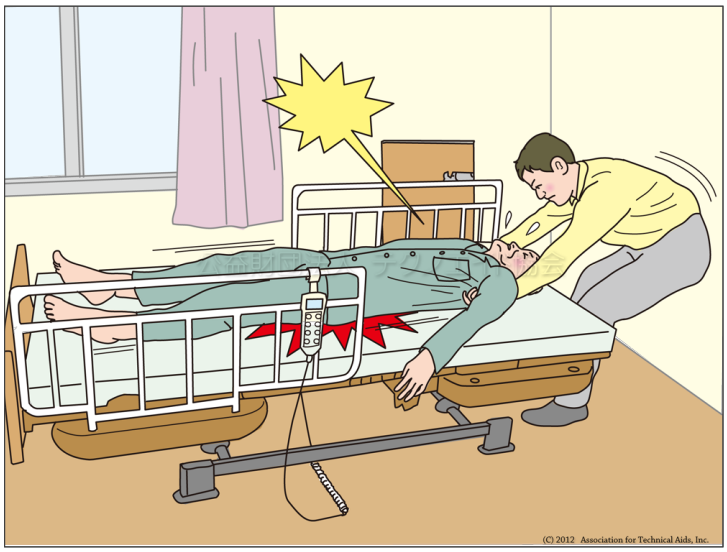
Case：27

# 足側にズレた利用者の身体を、介助者が戻そうとして、ケガをしそうになる

## 場面の説明

ヘッドボードを取り外し、利用者の頭側から力ずくで手前に引き寄せようとした




| | |
|---|---|
| 利用シーン | 起居・就寝 |
| 主な利用場所 | 寝室 |
| 介護保険の種目 | 特殊寝台 |
| 分類コード (CCTA95) | 181209 (電動ギャッチベッド) |
| 介護テクノロジー | ー |
| 二次元バーコード | |

## 解説

このような介助は、本人の痛みの問題だけではなく、褥瘡（床ずれ）の発生や悪化の原因となります。また、力任せの介助は介助者の腰痛の原因にもなります。足側にズレないベッド操作方法を習得し、寝位置の修正をする際にはスライディングシートを利用するなど、正しい介助方法を身につけましょう。

## 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ズレが褥瘡（床ずれ）の要因であることを理解していない
人：スライディングシートなどを使わず移動させた
環境：正しい介助方法や適切な用具を助言する人が周囲にいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.